



<ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2020年1月20日

ベトナム訪日外客数大幅増加

伸び率は27.3%でトップ

日本政府観光局(JNTO)によると2019年の訪日外客数は前年比+2.2%の3,188.2万人で、統計開始(1964年)以来最多となった。

東南アジアから日本を訪れる観光客は、エアラインの新規就航や増便が相次ぎ、座席供給量が拡大したことから高い伸びとなった。欧米豪からも桜鑑賞やラグビーワールドカップ開催等により年間を通じて好調な伸びとなった。

フィリピンからの旅行者は+21.7%の61.3万人となり、初めて60万人を突破した。インドネシアからは微増で+4.0%の41.3万人だったがプラス成長は維持し、通年で初めて40万人を上回った。

2019年訪日外客数(人)(推計値)

	2019年	伸び率(%)
中国	9,594,300	14.5
韓国	5,584,600	-25.9
台湾	4,890,600	2.8
香港	2,290,700	3.8
タイ	1,319,000	16.5
インドネシア	412,800	4.0
フィリピン	613,100	21.7
ベトナム	495,100	27.3
総数	31,882,100	2.2

出所：JNTO

ベトナムは49.5万人で、伸び率は最大の+27.3%だった。すべての月で過去最高を更新、初めて年間で40万人を超えた。

花の観賞が人気コンテンツであるベトナムで、SNSを通じて魅力訴求と地方誘客の拡大を図ったことが貢献した模様。

以上